

2022年 2月24日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

県産業廃棄物最終処分場建設に反対する連絡会

共同代表 荒川 照明

日立市台原町2-10-10

共同代表 数藤 まち子

日立市諏訪町5-24-7

2022年3月6日、日立市内において開催予定の「新産業廃棄物
最終処分場基本計画市民報告会」の延期について（緊急要望）

標記について、下記の通り要望致します。つきましては、この実現方宜しくお願い致します。

記

1 要望内容

貴職が開催を計画している標記「市民報告会」については、コロナウィルス感染症パンデミック（世界的大流行）による公衆衛生上の重大事態の最中にあることから、延期すること。

2 要望理由

- 1) オミクロン株由来のコロナウィルス感染症が継続し、現在は、オミクロン株より感染力と人体への影響の強い「ステルスオミクロン株」に移行してきている。2月22日現在の県内の陽性者は約6万6千人（日立市では1千9百人余）、1日当たりでは、1か月前の約2倍となっている。この中で、入院治療ができずに自宅療養や宿泊施設療養を余儀なくされている県民が8千5百人を超えている。第3回目のワクチン接種も遅れており、市民の命が危険にさらされている。
- 2) この様な中で、茨城県を含む関係都道府県の要請を受けて、政府は蔓延防止期間を2月21日から3月6日まで延期した。そもそも、貴職が、市民報告会を3月6日に設定したのは、蔓延防止期間が2月20日迄であった時点での判断であり、蔓延防止期間が延長された現時点においては、市民報告会を3月7日以降の適切な日に延期するのが相当であると考えられる。
- 3) 会場に予定されている日立市多賀市民会館は、コロナ感染症パンデミック下での定員を通常の約半分の約220席としているが、横の席を一つ空ける等の対応であり、感染力の強いウィルス株の確認されている現段階において、感染防止を保障しうるものになっているとは言い難い。この様な状況下で「市民報告会」を行うのは、市民の命と暮らしを守ることを本務とする地方自治体の対応としては適切ではない。

2022年 2月24日

日立市長 小川 春樹 殿

県産業廃棄物最終処分場建設に反対する連絡会

共同代表 荒川 照明

日立市台原町2-10-10

共同代表 数藤 まち子

日立市諏訪町5-24-7

2022年3月6日、日立市内において茨城県が開催予定の「新産業
廃棄物最終処分場基本計画市民報告会」の延期について（緊急要望）
標記について、下記の通り要望します。つきましては、この実現方宜しくお願い致し
ます。

記

1 要望内容

標記の「市民報告会」については、コロナウィルス感染症パンデミック（世界的大流行）による公衆衛生上の重大事態の最中にあることから、延期するよう茨城県知事に働きかけること。

2 要望理由

- 1) オミクロン株由来のコロナウィルス感染症が継続し、現在は、オミクロン株より感染力と人体への影響の強い「ステルスオミクロン株」に移行してきている。2月22日現在の県内の陽性者は約6万6千人（日立市では1千9百人余）、1日当たりでは、1か月前の約2倍となっている。この中で、入院治療ができずに自宅療養や宿泊施設療養を余儀なくされている県民が8千5百人を超えている。第3回目のワクチン接種も遅れており、市民の命が危険にさらされている。
- 2) この様な中で、茨城県を含む関係都道府県の要請を受けて、政府は蔓延防止期間を2月21日から3月6日まで延期した。そもそも、貴職が、市民報告会を3月6日に設定したのは、蔓延防止期間が2月20日迄であった時点での判断であり、蔓延防止期間が延長された現時点においては、市民報告会を3月7日以降の適切な日に延期するのが相当であると考えられる。
- 3) 会場に予定されている日立市多賀市民会館は、コロナ感染症パンデミック下での定員を通常の約半分の約220席としているが、横の席を一つ空ける等の対応であり、感染力の強いウィルス株の確認されている現段階において、感染防止を保障しうるものになっているとは言い難い。この様な状況下で「市民報告会」を行うのは、市民の命と暮らしを守ることを本務とする地方自治体の対応としては適切ではない。